

# Shipping Guide

月

基本発行日:祝日を除く月、水、金曜日 1部499円  
発行所 株式会社 オーシャンコマース 〒105-0013東京都港区浜松町1丁目2番11号(葵ビル)  
TEL: (03) 3435-7470(編集)・7510(広告・スケジュール)・7630(販売・総務)  
FAX: (03) 3435-7892(編集・広告・スケジュール) ☎: 0120-827-773(購読・書籍のお問い合わせ、申し込み)

No. 11,338

SHIPPING GUIDE

Monday, January 5, 2026

## 紅海・スエズ通航再開で混雑予測

### PSA Internationalが対応準備進める

シンガポールのターミナルオペレーター、PSA Internationalは大手コンテナ船社のスエズ運河通航再開機運が高まっていることを受け、航路とスケジュール変更により積み替えハブであるシンガポールの寄港が増加、混雑が発生すると予測している。PSAの担当者が地元紙の取材に答えたもの。

船社はこの数週間、アジア／欧州航路で喜望峰への迂回から紅海・スエズ運河経由の航行を段階的に再

開している。通航再開が進めばトランジットタイムは10～14日短縮し長期的には運賃が下がる見込みだが、航路変更にともなうスケジュールやサービスの調整によりシンガポールなどの主要ハブ港では短期的に寄港が増加するとみられている。

PSAでは特に航路変更後数週間はアジア向け東航のシンガポール寄港が急増しターミナル需要が増加すると予測、混乱を軽減するためトゥアス港の拡張やAIを活

用した効率化、顧客との連携強化などに取り組むとしている。

スエズ運河庁(SCA)によると昨年12月下旬、CMA CGM(仏)がアジア／北欧州航路のFAL3/AEU6/LL5 Service、アジア／地中海航路のPHOEX/AEM6/BEX2/AAS Service、Maerskが中東・インド亜大陸／北米東岸航路のMECL Serviceに投入するコンテナ船がそれぞれスエズ運河を通航した。

### 造船再生ロードマップ策定5本柱に建造能力倍増目指す

国土交通省と内閣府は昨年暮れ、国民生活や経済活動を支える我が国造船業を再生するため、関係省庁と連携しつつ、2035年における船舶建造能力の目標や、その実現に必要な総合的・戦略的な取組の絵姿を示す「造船業再生ロードマップ」を策定した。

ロードマップでは、現在約

900万gtの年間建造量を、2035年に「1,800万gt」に引き上げる目標を掲げ、(1)船舶建造体制の強靭化(2)造船人材の確保・育成(3)脱炭素化等を通じたゲームチェンジ(4)安定的な需要の確保(5)同志国・グローバルサウスとの連携、を5本柱に実現へ向け具体的な取り組を進めていく。

四面を海に囲まれ、エネルギーや食料などの自給率が低い日本で、貿易量の99.6%

を担う海上輸送は、国民生活・経済活動に不可欠なインフラ。海上輸送に必要な船舶の安定供給を担う造船業は、経済安全保障の観点から重要な産業であり、同盟国等との協力の一層の活性化も期待されている。また、中国・韓国との厳しい競争の中で、近年の建造量が減少傾向にある一方で、世界の造船市場には、ゼロエミッション船に代表される次世代船舶の需要等、将来への可能性

なければならないが、海上での衛星通信の追跡・識別は困難で規制の執行はできていなかった。

ウクライナ戦争での活用などを背景に中国政府はStarlink衛星通信への警戒を強めており、今回の初の執行措置にともない、今後船社は中国領海に接近する前に中国のシステムや現地の携帯電話ネットワークなど許可済みの代替手段に切り替えるか、多額の罰金や機器の没収、船舶拘留、運航遅延などのリスクを負うかを迫られる可能性がある。

船舶の場合、沿岸から12海里以内の中国領海に入る前に端末を停止し



### 国際輸送ならお任せください

世界15カ国以上、30社超の信頼できるパートナーと共に、ドアツードア一貫輸送を提供しています。

#### LCL/FCL一貫輸送

Nippon Marine Logistics, Ltd.

Tokyo: 03-5649-9110

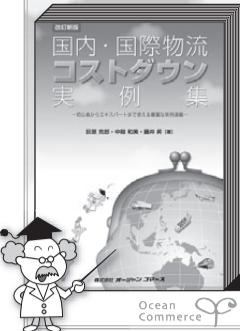
## 国内・国際物流コストダウン実例集

～初心者からエキスパートまで使える豊富な実例満載～

荻原 克郎・中畠 和美・藤井 昇 [著]

ISBN978-4-900932-64-7

2015年9月刊



2013年8月発行「国内・国際物流コストダウン実例集」に、2014年7月号から月刊誌「荷主と輸送」に連載中の「物流効率向上講座」11回分を新たに加えた改訂新版。物流改善に力を入れる優良企業に直接取材した具体的な事例を掲載。関連するキャリアやフォワーダーの利益に相反すると思われるがちな荷主のコストダウンは、効率的物流の構築、貿易の活性化、環境負荷への配慮など、トータルな意味で全体の利益につながります。簡単なコストダウンの実例から少々難解な事例まで、図解・写真を中心に説明した他の物流関連書籍には無いユニークな内容。初心者から物流エキスパートまで、幅広くお役に立ちます。

A5判、303頁 定価1,650円(税込)

TEL: 03-3435-7630 FAX: 03-3435-7896 info@ocean-commerce.co.jp

株式会社 オーシャンコマース

も広がっている。

こうした背景から、国交省と内閣府は、国民生活や経済安全保障を支える日本造船業を再生するため、関係省庁と連携しつつ、2035年における船舶建造能力の目標やその実現に必要な取組等を盛り込んだ「造船業再生ロードマップ」を策定した。

昨年12月23日に設置した「造船業再生に向けた検討会」で、今後、造船業の再生に向け、船舶建造体制の強靭化や造船人材の確保・育成など総合的な官民投資策に議論を深めていく。

印/中東/西ア・MIAX  
ケープタウン追加寄港

Hapag-Lloyd

Hapag-Lloyd(独)は今月下旬からインド亜大陸／中東／西アフリカ航路の

Middle East India Africa Express (MIAX)を改編し、東航でケープタウンに追加寄港することで、地域間の接続性を強化する。

新MIAXは、1月22日ケープタウン入港予定の“Gialova”(4,301TEU、Voy. 2547E)から、ジェベルアリ～ムンドラ～ハジラ～ナバシェバ～コロンボ～ダーバン～テマ～ティンカン～アパバ～ケープタウン～ダーバン～ジェベルアリの新ローテーションで定曜日ウイークリーサービスを開始する。

中国/中東ガルフ新設  
新Red Sea 1もスタート

Greta Shipping

Greta Shipping(シンガポール)は昨年12月24日から中国と中東ガルフを結ぶChina-Gulf Express 1(CGX 1)Serviceを開

始した。当初は"CSTAR VOYAGER"(1,831TEU)を投入し青島～寧波～ジェベリアリ～青島のローテーションで42日ターンでサービスする。新サービスは、ジェベリアリで新Kuwait Feeder Service (KWF)に接続する。新KWFはGretaがHapag-Lloyd(独)と提携した旧Jebel Ali-Karachi Express (JKX)を改編したもので、ローテーションはジェベルアリ～シュアイバ～シュワク～ジェベルアリ。

加えて、Gretaは3日から新Red Sea 1(RS1)Serviceを開始した。サラーラ～ジブチ～サラーラのローテーションでウイークリーサービスする。当初3週間は"GRETA STAR"(1,730TEU)を投入するが、その後は"BHAGYA LAXMI"(1,030TEU)に代替する。

協議会(WSC)がまとめた、会員会社から報告があった2024年の船舶から海へのコンテナ流失本数は576本で前年比プラスとなり、喜望峰経由での運航が増える中、同海域での流失本数は約200本・全体の35%を占めた。一方で2025年に入ってからは同海域で流失事故の報告はなく、業界が経験を活かして事故防止に成功していることを示している。



### SOLAS条約改正でコンテナ海上流失

1月1日に1本から船舶に報告義務発効

国際海事機関(IMO)が2024年5月に海上における人命の安全のための国際条約(SOLAS条約)の航行の安全規定を改正し、2026年1月1日からコンテナを1本以上積載した船舶は、コンテナの海への流失を確認した場合、船長にその状況をIMOへ速やかに報告することを義務付ける規定が発効した。また海上を漂流しているコンテナを発見した場合も、速やかな報告が義務付けられている。

報告義務があるのは、船舶の識別情報、紛失・漂流位置、日時、判明している流失したコンテナの本数、コンテナのサイズと種類、危険物

の有無とUN番号で、これに

より付近の船舶、関係する沿岸の当局、船舶の旗国への迅速な連絡が可能になる。

またコンテナが流失した船は、安全を確保したうえで可能な限り速やかに流失状況を検査することが期待されているほか、事故などで船を放棄した場合も、船社は可能な限り把握している情報を報告する義務がある。

国際定期船業界を代表する業界団体である世界海運

**WAN HAI LINES LTD.**  
WE CARRY, WE CARE.

ベトナムダイレクトサービス: JSVサービス  
関西/ベトナム  
Fixed Day Weekly Service

ベトナムビジネスにお応えするHochimin (Catlai port)とDanangをカバーする画期的なサービスです。

**WAN HAI LINES LTD.**  
WE CARRY, WE CARE.

General Agents: **WAN HAI LINES (JAPAN), LTD.**

Taipei (土): 4Days.  
Kaohsiung (月): 6Days.  
Danang (水): 8Days.  
Hochimin (Catlai) (金): 10Days.

Hakata 土-日  
Kobe 月-月  
Osaka 月-火

Direct call to →

Tokyo (03) 5511-1562 (B/L:5511-1575) Osaka (06) 4963-8601 (B/L:4963-8603)

## 蘭で3.4万m<sup>2</sup>規模 物流施設を取得

星港のMaple Investments

シンガポール政府系の不動産開発大手Mapletree Investmentsはこのほど、オランダ・ウェストブラバント州ルーセンダールに位置する3万4,852m<sup>2</sup>の物流施設(写真)を取得したと発表した。

取得した倉庫はオランダ有数の物流拠点であるルーセンダールにあるビジネスパーク・ボルクヴェルフ内に位置し、高速道路に直接アクセスでき、主要都市、内陸ターミナル、港、空港への接続が優れており、ベネルクス諸国の港湾を通じて国際貿易を支える欧州



主要流通回廊である欧州メガロポリスにおけるグループの存在感を強化する。

同社は2018年の欧州物流市場参入以来、現在8カ国に82カ所の物流資産を保有し、運用資産総額は16億ユーロに達する。今年前半には、英国で2つの物流資産(ダービーDC1およびヴェルダ・パーク)ならびにスペインのバルセロナ、バレンシア、マドリード各都市の第一環状地域に分散配置された10倉庫を戦略的に取得、物流分野に加え、欧州と英国でオ

フス、複合用途施設、学生向け住宅を所有・管理しており、2025年3月末現在の資産価値は約78億シンガポールドルに上る。

## トルコ初の自動化ターミナルに 26年末に能力360万TEU

トルコ・メルシン港

PSA International(シンガポール)が豪州のファンドIFM Investors、Akfen Holding(トルコ)と合弁運営するトルコ・メルシン港のコンテナターミナル、Mersin International Port(MIP)はこのほど、機能強化計画であるEast Med Hub2(EMH2)プロジェクトの第1期工事が完了し、トルコ初となる完全統合型ヤード自動化システムの稼働を開始した。

EMH2の第1期ではガントリークレーン4基と完全自動

レール式クレーン(aRMG)14台で構成する完全統合型ヤード自動化システムを導入した。ガントリークレーン4基はアウトリーチ71m、吊り上げ能力65トンで大型コンテナ船2隻の同時荷役に対応し、aRMG14台はターミナルオペレーティングシステム(TOS)と統合し遠隔操作による自

律運転が可能で、高精度スキャナ、カメラ、センサーなどの安全システムを備え高精度かつ安全で迅速なコンテナ荷役が可能となった。aRMGによりヤード生産性は26年6月までに2倍となり、オペレーション効率が大幅に向上し、EMH2は26年末に完全稼働し、年間処理能力

が260万TEUから360万TEUに増加する見込み。MIPはトルコのアンカラ、ガズィアンテプ、カイセリなどの工業都市やシリア・イラクなどの近隣諸国と鉄道/道路で接続、中東や黒海への積み替え拠点としても機能しトルコ最大の総貨物取扱量を誇る。

## 越獨自建造最大型 ばら積み船が進水

ベトナム造船工業総公社(SBIC)、旧Vinashin)傘下のナムチエウ造船(Nam Trieu Shipbuilding Industry Corporation:NASICO)はハイフォン市で昨年暮れ、ばら積み船"Truong Minh Dream"(写真)の進水式を開催した。

同船は、ドンバッック船舶工

業(Dongbac Shin)向けの新造船で、全長200.0m、幅32.3m、喫水11.3m、6万5,000dwt。ベトナムの技術者と技能労働者が主体となって建造した新造船としては、過去最大級となる。

設計は、ベトナム造船技術(VISEC)と



Bluetech Finlandの企業連合体が手掛け、建造は、日本海事協会(Class NK)とベトナム船級協会(VR)の監督の下で行われた。



# EVERGREEN LINE

## † Feeder Service

— All schedule subject to change with or without notice. —

北米西岸 (HTW/ANP)		†TOKYO †Y'HAMA †SHIMIZU †NAGOYA †Y'ICHI †OSAKA †KOBE †IWAKUNI †MOJI †HAKATA												Los Angeles		Tacoma		Vancouver			
EVER MODE	9V7648	1437-006E	(HTW)	1/ 8	1/ 9	1/15	1/11	1/10	1/18	1/17	1/10	1/12	1/13	2/ 2	—	—	—				
EVER SIGMA	MKKZ7	0147-139E	(ANP)	1/13	1/14	1/15	1/16	1/10	1/10	1/17	1/10	1/12	1/13	—	2/10	2/15	—				
EVER MOST	9V7650	1438-007E	(HTW)	1/17	1/18	1/19	1/20	1/19	1/24	1/21	1/19	1/19	1/20	2/ 9	—	—	—				
A VESSEL	—	—	(ANP)	1/17	1/18	1/19	1/20	1/19	1/17	1/21	1/19	1/19	1/20	—	2/17	2/22	—				
EVER MAGUS	9V7662	1439-005E	(HTW)	1/22	1/23	1/26	1/25	1/24	2/ 1	1/28	1/29	1/26	1/27	2/16	—	—	—				
A VESSEL	—	—	(ANP)	1/24	1/25	1/26	1/27	1/24	1/24	1/28	1/29	1/26	1/27	—	2/24	3/ 1	—				
EVER MAGIC	9V7661	1440-006E	(HTW)	1/29	1/30	2/ 2	2/ 1	1/31	2/ 5	2/ 4	1/31	2/ 2	2/ 3	2/23	—	—	—				
A VESSEL	—	—	(ANP)	1/31	2/ 1	2/ 2	2/ 3	1/31	1/31	2/ 4	1/31	2/ 2	2/ 3	—	3/ 3	3/ 8	—				
北米東岸 (SAX/AUE/PEX3)		†TOKYO †Y'HAMA †SHIMIZU †NAGOYA †Y'ICHI †OSAKA †KOBE †IWAKUNI †MOJI †HAKATA												New York	Savannah	Charleston	Norfolk	Baltimore	Houston	Mobile	New Orleans
COSCO SHIPPING PANAMA	VRXA4	002E	(SAX)	1/10	1/10	1/12	—	—	1/15	1/19	1/10	1/21	1/21	2/24	3/ 1	3/ 4	—	—	—	—	—
EVER MATCH	9V7672	1342-003E	(AUE)	1/ 8	1/ 9	1/10	1/11	1/10	1/10	1/10	1/10	1/12	1/13	3/ 2	2/26	—	3/ 6	3/ 7	—	—	—
CMA CGM DALILA	9HA6001	OPGMVE1MA	(PEX3)	—	—	—	1/ 9	1/ 9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3/ 2	3/ 5	3/ 7	—
OOCL BANGKOK	VRME6	067E	(SAX)	1/17	1/17	1/16	—	—	1/22	1/23	1/19	1/26	1/26	3/ 3	3/ 8	3/11	—	—	—	—	—
EVER MASS	9V7628	1343-007E	(AUE)	1/17	1/18	1/19	1/20	1/19	1/17	1/19	1/19	1/20	1/20	3/ 9	3/ 5	3/13	3/14	—	—	—	—
CMA CGM ALMAVIVA	9HA6068	OPGMXE1MA	(PEX3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3/ 9	3/12	3/14	—
OOCL EGYPT	VRLZ3	072E	(SAX)	1/24	1/24	1/23	—	—	1/29	2/ 2	1/29	2/ 4	2/ 4	3/10	3/15	3/18	—	—	—	—	—
EVER MAST	9V7629	1344-009E	(AUE)	1/22	1/23	1/24	1/25	1/24	1/24	1/24	1/29	1/26	1/27	3/16	3/12	3/20	3/21	—	—	—	—
CMA CGM BAALBECK	FNYJ	0PGMZE1MA	(PEX3)	—	—	—	1/21	1/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3/16	3/19	3/21	—
A VESSEL	—	—	(SAX)	1/31	1/31	1/30	—	—	2/ 5	2/ 4	1/31	2/ 7	2/ 7	3/17	3/22	3/25	—	—	—	—	—
A VESSEL	—	—	(AUE)	1/29	1/30	1/31	2/ 1	1/31	1/31	1/31	1/31	2/ 2	2/ 3	3/23	3/19	3/27	3/28	—	—	—	—
CMA CGM OHIO	9HA4132	OPGN1E1MA	(PEX3)	—	—	—	1/28	1/28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3/23	3/26	3/28	—
欧州 (CEM)		†TOKYO †Y'HAMA †SHIMIZU †NAGOYA †Y'ICHI †OSAKA †KOBE †IWAKUNI †MOJI †HAKATA												Rotterdam		Felixstowe		Hamburg			
EVER ACE	3E2382	1384-017W	—	1/17	1/18	1/19	1/20	1/19	1/18	1/19	1/19	1/21	1/21	2/25	3/ 1	3/ 5	—	—	—	—	—
EVER AIM	3E3532	1385-016W	—	1/22	1/23	1/24	1/25	1/24	1/24	1/23	1/29	1/19	1/26	3/ 4	3/ 8	3/12	—	—	—	—	—
EVER ALLY	9V8096	1386-002W	—	1/29	1/30	1/31	2/ 1	1/31	2/ 1	2/ 2	1/31	1/26	2/ 4	3/11	3/15	3/19	—	—	—	—	—
EVER AEON	9V7306	1387-007W	—	2/ 5	2/ 6	2/ 7	2/ 8	2/ 7	2/ 5	2/ 4	2/ 7	2/ 2	2/ 7	3/18	3/22	3/26	3/26	3/27	3/30	4/ 2	—
地中海 (MD2)		†TOKYO †Y'HAMA †SHIMIZU †NAGOYA †Y'ICHI †OSAKA †KOBE †IWAKUNI †MOJI †HAKATA												Piraeus	Genoa	La Spezia	Fos Sur Mer	Valencia			
OOCL HONG KONG	VRQL9	038W	—	1/14	1/15	—	—	—	1/10	1/ 8	1/10	1/12	1/11								

## 25年1~11月貨物鉄道通行量 ドスティク/阿拉山口検問所 カザフスタン

カザフスタンと中国の国境となるドスティク/阿拉山口間における昨年1~11月の鉄道による越境コンテナ輸

## 複合輸送鉄道施設・MIT稼働 輸入貨物モーダルシフト促進

メルボルン港近郊

豪州・メルボルンの北部・スマートン物流地区でこのほど、年金ファンド、Aware Superの支援のもと開発した同国で最大規模の複合輸送ターミナル、Melbourne Intermodal Terminal (MIT) が稼働を開始した。

メルボルン港はこれに合わせMITを、コンテナ輸送をトラックから鉄道に転換するインセンティブ制度の対象に選定し、稼働開始とともにMITの利用促進を支援し、輸入コンテナでは同港から

送量は、総輸送量が貨車ベースで1%増の45万200両・重量ベースで6%増の1,780万トンだった。うち輸出は貨車ベースでほぼ前年並みの20万9,700両、重量ベースで前年同期比4%増の1,290万トン、輸入は1%

増の24万1,000両・12%増の480万トン、またカザフスタンからの純輸出量は6%増の13万8,900両、トン数ベースで10%増の920万トンだった。

カザフスタンはこのほど、中国国境のホルゴス近郊の

MITへコンテナを輸送する場合、1TEUあたり100米ドル、1FEUあたり200米ドルを助成している。

MITの設計、開発、運営はIntermodal Terminal Company (ITC) が担い、保税施設、空コン管理・修理、洗浄施設、燻蒸施設などの施設を備え、年間最大1,000本以上を輸送したと試算している。

う。メルボルン港からは20kmの位置にあり、高速道路と州間鉄道が接続し、近隣にはビクトリア州のコンテナ貨物の20%と350万m<sup>2</sup>規模の倉庫群が立地している。

すでに、昨年11月の稼働開始から昨年末のクリスマスまでに港との間でコンテナ1,000本以上を輸送したと試算している。

カザフスタンは中国から欧洲向けの中欧班列の通過点として近年取扱量が増加しているが、需要の増加により列車の混雑が深刻化しており、新たな鉄道インフラ開発により混雑解消を図る。



## Air 航空

### 国際航空貨物需要、26年は3~4%増

#### AI、ECが引き続き成長エンジンに

ノルウェーの世界的な海上・航空貨物の運賃分析と市場の可視化プラットフォームを提供するスタートアップ企業、Xenetaによると、2025年の航空貨物市場は、世界貿易と経済政策の観点から、過去20年間で最も不確実な年として記録された。米中貿易摩擦の再激化、米国のあらゆる分野での関税引き上げ、少額輸入貨物の免税制度デミニスの廃止、地政学リスクなどが重なり、世界の貿易秩序を揺るがした。それにもかかわらず、当初の懸念に反して、航空貨物市場は比較的堅調な傾向を維持して2025年を終えた。2026年は、貨物需要が年率3~4%の緩やかな増加を予測する。

#### 航空運賃1~2%下落

2025年は関税回避のための前倒しや電子商取引(EC)、AI(人工知能)や半導体関連の高付加価値貨物の増加が需要を下支えしたが、航空運賃は市場心理の弱まりと供給増加により年率1~2%下落したと推定する。

2026年は、マクロ環境がさらに冷え込む。国際通貨基金(IMF)は2026年の世界のGDP成長率を3.1%と予測し、世界貿易機関(WTO)は商品貿易の伸び率が2025年の2.4%から2026年には0.5%に急減すると予測している。航空貨物は伝統

る。

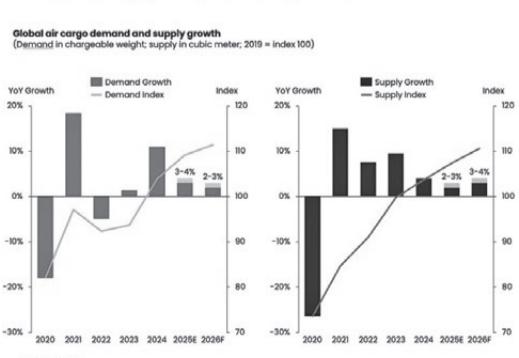
ECは依然として航空貨物需要に影響を与える重要な要因で、米国のデミニス廃止後、中国から米国への低価格ECの航空貨物量は激減したが、欧州市場への移行は急速に進んだ。

SheinやTemuなど中国の激安ECサイトは、広告戦略と物流戦略を欧州に移すことで売上げを拡大した。ただ、2026年にはEUもデミニスの改革や規制の強化が予想されており、ECの成長ペースは鈍化する可能性が高い。それにもかかわらず、ECの貨物量は依然として航空貨物市場全体の平均よりも速いペースで成長すると予想されている。

#### デミニス廃止もEC成長

2026年は、貨物需要が年率3~4%の緩やかな増加を予測する。路線ごとに明確な差別化が図られ、アジア~米路線は米中貿易の減少の直撃を受け、2025年までに累計ベースで2ケタ近い減少となった。一方、アジア~欧州路線は最も顕著な業績を示し、ECやサプライチェーン再編の効果で2ケタ成長を続けた。欧州が世界のサプライチェーンにおける迂回路および中継ハブとしての役割を強化していることも注目に値するとしている。

Global air cargo supply to outpace demand growth in 2026



国境検問所に近いアルティンコリ操車場を改修し、新たに引き込み線を6本増設、1日の列車の処理便数を従来の20便から28便に増強し、取扱量を40%増強した。

またアルティンコリとアルマトイ近郊のジェティゲン間の32kmの複線インフラの整備を進め、1日の鉄道運航便数を18便から33便に増強する。完成は2026年の予定。

カザフスタンは中国から欧洲向けの中欧班列の通過点として近年取扱量が増加しているが、需要の増加により列車の混雑が深刻化しており、新たな鉄道インフラ開発により混雑解消を図る。

### 1~11月コンテナ取扱量 4.9%増・526.1万TEU

バレンシア港

スペイン・バレンシア港における昨年11月の総貨物取扱量は前年同月比10.2%増の

## 那覇港公共国際CTの 契約をNICTIと調印

那覇港管理組合

那覇港公共国際コンテナターミナルと那覇国際コンテナターミナル(NICTI)は、2025年12月に第2期(運営期間:2016年1月1日~2025年12月31日)の同ターミナルの賃貸借契約が終了するところから、第3期(2026年1月1日~2035年12月31日)の運営事業に向け、2025年12月23



665万3,192トンで、コンテナは個数ベースで18.5%増の48万1,691TEUと2ケタのプラスになった。

昨年1~11月の総貨物取扱量は前年同期比0.2%減の7,382万4,678トンで、う

ち輸出は7.9%増加、輸入は14.5%増加した。コンテナ取扱量は個数ベースで4.9%増の526万1,450TEUだった。

中国、米国、アルジェリア、モロッコとの取扱量が過去最高を記録した。

本人も20%の大幅増で44万8,321人、合計では7%増の285万6,989人となった。

国際貨物便の発着回数は1,567回で前年同月比4%の減少となったが、取扱貨物量は2%増の7万1,176トンで14カ月連続のプラスとなった。国内線は28%減の612トンで8カ月連続のマイナスだった。

### 中部空港の11月運用実績 外国人旅客が5カ月ぶり減少

中部国際空港が発表した11月の運用実績は、国際線の航空機発着回数が前年同月比4%減の3,009回、うち旅客便が7%増の2,605回、貨物便が28%の大幅減で338回だった。国内線も4%減の4,467回と2カ月連続のマイナスとなった。

国際便の旅客数は6%増の43万6,100人、うち外国人が1%減の25万1,100人、日本人が17%増の18万5,000人と明暗を分けた。

国際貨物取扱量は7%減の1万993トンで2カ月連続のマイナスとなった。積込量は4.0%減の5,408トンと2カ月連続減、取卸量は10%減の5,585トンで23カ月ぶりにマイナスに転じた。

EXCHANGE QUOTATIONS (Closing)										
Currencies	U.S. \$		EURO		STG. £		CHF			
	Date	Spot	TTS	TTB	Yen	TTS	TTB	Yen	TTS	TTB
12/26 (Fri)		157.51	155.51	185.98	182.98	215.46	207.46	199.39	197.59	
25 (Thu)		156.92	154.92	184.96	181.96	214.96	206.96	198.94	197.14	
23 (Tue)		157.75	155.75	185.96	182.96	215.25	207.25	198.94	197.14	
19 (Fri)		156.85	154.85	184.23	181.23	212.64	204.64	197.06	195.26	
18 (Thu)		156.61	154.61	184.19	181.19	212.11	204.11	196.54	194.74	
16 (Tue)		156.12	154.12	183.78	180.78	211.44	203.44	195.70	193.90	
12 (Fri)		156.71	154.71	184.27	181.27	212.57	204.57	196.79	194.99	
11 (Thu)		156.87	154.87	183.87	180.87	212.60	204.60	195.81	194.01	
9 (Tue)		157.03	155.03	183.09	180.09	211.91	203.91	194.32	192.52	

**Shipping Guide**  
 株式会社 オーシャン コマース  
 住所:〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-11 萬ビル  
 電話:03(3435)7630~7658 (総務・経理・販売)  
 FAX:03(3435)7896 (総務・経理・販売・制作)  
 郵便振替口座番号:東京0-63646  
 みずほ銀行 神田駅前支店  
 普通口座 1210053  
**定期購読料金** (8%消費税込価格)  
 1部 416円 1ヶ月 5,551円  
 3ヶ月 13,867円 6ヶ月 22,032円  
 基本年間契約 38,680円  
 法人一括(3事業所で3部購読) 77,760円

# Shipping Guide

月

基本発行日:祝日を除く月、水、金曜日 1部499円  
発行所 株式会社 オーシャンコマース 〒105-0013東京都港区浜松町1丁目2番11号(葵ビル)  
TEL: (03) 3435-7470(編集)・7510(広告・スケジュール)・7630(販売・総務)  
FAX: (03) 3435-7892(編集・広告・スケジュール) ☎: 0120-827-773(購読・書籍のお問い合わせ、申し込み)

(4)

SHIPPING GUIDE

Monday, January 5, 2026

## タイニン省ロンハウ工業団地に冷蔵倉庫建設

### 五十嵐冷蔵 | ベトナムの冷蔵保管需要に対応

五十嵐冷蔵は、ベトナムに現法と倉庫を新設することで、人口が約1億人、平均年齢も約30歳前半と若い同国で食品流通拡大の一翼を担い、海外事業の成長と日本国内で重要な働き手となっているベトナム国民への貢献を目指す。特にベトナムに展開している日本国内やタイ拠点の顧客をはじめ、冷蔵保管ニーズの高まりに応えるとともに、同社の食品商社・卸業でも連携を進めていく方針だ。

ベトナム現地法人 Igarashi Vietnam Co. Ltd. は、五十嵐冷蔵が100%出資し、資本金4,730億ベトナムドン(約28億円)で設立、着工する新倉庫は、敷地面積が3万6,600m<sup>2</sup>、延べ床面積が1万8,556.56m<sup>2</sup>の規模で、収容能力は約2万2,000パレット。

自動ラック(冷凍: 約1



万1,000パレット)、移動ラック(冷凍・冷蔵・定温・ドライ: 約1万1,000パレット)のほか、急速凍結設備、解凍設備、省エネルギー自然冷媒冷凍機、太陽光発電設備(1,067kWp)、自家発電設備、陽圧空調システム、テナント用レンタルオフィス(5部屋)を備える。新倉庫を建設するロンハウ工業団地は、ホーチミン市の中心まで19km、カトライ港まで25km、タンソンニヤット国際空港まで25kmと陸海空の接続に適した好立地にある。

の19万6,153TEU。川崎港は1.9%増の6,275TEU、うち輸出が14.5%増の3,017TEU、輸入が7.6%減の3,258TEU、横浜港は4.1%増の24万6,523TEU、うち輸出が1.2%増の13万2,792TEU、輸入が7.6%増の11万3,731TEUだった。名古屋港は0.2%増の23万3,949TEU、輸出が2.4%減の12万713TEU、輸入は3.2%増の11万3,236TEUだった。大阪港は、7.3%減の18万184TEU、うち輸出が8.6%減の8万2,790TEU、輸入が6.3%減の9万7,394TEU、神戸港は16.0%減の16万4,163TEU、うち輸出が23.9%減の8万2,421TEU、輸入も6.1%減の9,547TEU、輸入が1.9%減8万1,742TEUとなった。

OCL Orient Overseas Container Line Limited INTERNET WEB SITE: <http://www.oocl.com/japan/jpn/> [ISO 9002取得]

カスタマーサービス直通電話

輸出・全航路: (03)3493-6260 FAX(03)3493-6405

輸入・全航路: (03)3493-6262 FAX(03)3493-5797

B/L、D/Oカウンター: (03)5289-4551

YOKOHAMA: 662-5983

SHIMIZU: 0120-975-324 (総合)

0120-975-366 (リーファー)

KOBE: 303-8222

OSAKA: 6573-3888 (B/L発行)

NAGOYA: 231-6565



KTX1+ECX1	Osaka	Kobe	Tokyo	Yokohama	Nagoya	New York	Savannah	Charleston
San Lorenzo	308S	1/18-18	1/17-18	1/15-15	1/15-16	1/16-17	3/ 3	3/ 8
Manet	050S	1/25-25	1/24-25	1/22-22	1/22-23	1/23-24	3/10	3/15
AS Anne	014S	2/ 1- 1	1/31- 1	1/29-29	1/29-30	1/30-31	3/17	3/22
								3/25
KTX3+ECC1	Tokyo	Nagoya	Yokkaichi	Kobe	Savannah	New York	Norfolk	Baltimore
OOCL New Zealand	162S	1/12-13	1/13-14	1/14-14	1/15-15	3/ 5	3/ 9	3/13
Vancouver	051S	1/19-20	1/20-21	1/21-21	1/22-22	3/12	3/16	3/20
OOCL Norfork	300S	1/26-27	1/27-28	1/28-28	1/29-29	3/19	3/23	3/27
								3/29
JPX	Kobe	Nagoya	Tokyo		Los Angeles		Oakland	
ONE Hammersmith	088E	1/16-18	1/19-20	1/22-23		2/ 4	2/10	
NYK Virgo	088E	1/23-25	1/26-27	1/29-30		2/11	2/17	
ONE Altaire	072E	1/30- 1	2/ 2- 3	2/ 5- 6		2/18	2/24	
KTX3+PNW1	Tokyo	Nagoya	Yokkaichi	Kobe	Vancouver	Seattle		
OOCL New Zealand	162S	1/12-13	1/13-14	1/14-14	1/15-15	2/ 9	2/13	
			—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—

台湾・香港・中国	東京	仙台	常陸那珂/鹿島	千葉	川崎	横浜	清水	名古屋	四日市	神戸	大阪	高雄	台中	桃園	香港	蛇口	福州	廈門	黄埔
Manet	050S	1/22-22	( 1/16)	( 1/20)	( 1/20)	( 1/21 am)	1/22-23	—	1/23-24	—	1/24-25	1/25-25	—	1/29	1/29	1/30	1/31	—	
GSL Maren	024S	1/18-18	( 1/ 9)	( 1/13)	( 1/16)	( 1/16 am)	1/18-19	—	1/20-20	—	1/21-21	1/16-17	—	1/24	1/24	( 駿州 1/24)	—	—	
Vancouver	051S	1/19-20	( 1/16)	( 1/15)	( 1/16)	( 1/16 am)	( 1/16)	—	1/20-20	1/21-21	1/22-22	1/21-22	1/25	1/26	1/27	1/27	1/29	1/29	
Cape Fortius	155S	1/23-24	( 1/19)	( 1/20)	( 1/20)	( 1/21 am)	1/24-24	—	—	1/22-22	1/21-22	1/29	—	—	—	—	2/ 1	2/ 2	
Jinyunhe	1926S	1/21-22	—	—	—	—	1/22-22	—	—	1/22-24	—	1/24-25	—	—	—	—	—	—	
AS Anne	014S	1/29-29	( 1/23)	( 1/27)	( 1/27)	( 1/28 am)	1/29-30	—	—	1/30-31	—	1/31- 1	2/ 1- 1	—	2/ 5	2/ 5	2/ 6	2/ 7	—
Moresby Chief	015S	1/25-25	( 1/19)	( 1/20)	( 1/20)	( 1/23 am)	1/25-26	—	—	1/27-27	—	1/28-28	1/23-24	—	—	—	—	—	—
OOCL Norfork	300S	1/26-27	( 1/23)	( 1/22)	( 1/23)	( 1/23 am)	( 1/23)	—	—	1/27-27	1/28-28	1/29-29	2/ 1	2/ 2	2/ 3	2/ 3	2/ 5	2/ 5	
Als Venus	084S	1/30-31	( 1/26)	( 1/27)	( 1/27)	( 1/28 am)	1/31-31	—	—	—	1/29-29	1/28-29	2/ 5	—	—	—	2/ 8	2/ 9	—
Caiyunhe	1928S	1/28-29	—	—	—	—	1/29-29	—	—	1/29-31	—	1/31- 1	—	—	—	—	( 南沙 2/ 5)	—	

東南アジア・海峡地	東京	仙台	常陸那珂/鹿島	千葉	川崎	横浜	清水	名古屋	四日市	神戸	大阪	Singapore	Jakarta	Pt. Kelang	P. Gudang	Semarang	Surabaya	Belawan	Yangon	Penang
Manet	050S	1/22-22	( 1/16)	( 1/20)	( 1/20)	( 1/21 am)	1/22-23	—	1/23-23	—	1/24-25	1/25-25	2/ 5	2/ 6	2/ 8	2/11	2/12	2/17	2/16	
Vancouver	051S	1/19-20	( 1/16)	( 1/15)	( 1/16)	( 1/16 am)	( 1/16)	—	1/20-21	1/21-21	1/22-22	1/21-22	1/31	2/ 3	2/ 6	2/ 6	2/ 7	2/ 5	2/11	
Cape Fortius	155S	1/23-24	( 1/19)	( 1/20)	( 1/20)	( 1/21 am)	1/24-24	—	—	—	—	—	2/10	—	—	—	—	—	2/11	
AS Anne	014S	1/29-29	( 1/23)	( 1/27)	( 1/27)	( 1/28 am)	1/29-30	—	—	1/30-30	—	1/30- 1	2/ 1- 1	2/12	—	2/13	2/18	2/19	2/24	
OOCL Norfork	300S	1/26-27	( 1/23)	( 1/22)	( 1/23)	( 1/23 am)	( 1/23)	—	—	1/27-28	1/28-28	1/29-29	2/ 7	2/10	2/13	2/15	2/14	2/12	2/18	
Als Venus	084S	1/30-31	( 1/26)	( 1/27)	( 1/27)	( 1/28 am)	1/31-31	—	—	—	1/29-29	1/2								